

秋田焼山火山防災マップ

<噴火災害に備えて>

このマップのみかた

このマップは噴火した際に起こる災害の影響範囲を想定したものです。
-書いてある主な内容-

①このマップでは噴火による影響範囲を、大規模と小規模の2つのケースにわけて書いています。
なお、大規模噴火の影響範囲の詳細を知りたい場合は下の焼山周辺拡大図をご覧ください。

②このマップは災害の影響範囲を着色して示しています。
なお、噴火現象毎に異なる色を用いていますので、詳しくは右側の記号と色の意味で確認してください。

③焼山周辺拡大図は普段の観光の際にも利用できます。

秋田焼山火山防災マップの前提条件

ひとくちに噴火といっても、規模や発生する現象にはいろいろなケースがあります。
ここでは、数千年に一回程度しか発生しないような大規模な噴火と、数十年に一回程度発生する小規模な噴火を想定しました。

数千年に一回の大規模噴火

大規模な噴火はマグマが噴出します。大規模な噴火は、山頂周辺で発生するものと考えられます。



数十年に一回の小規模噴火

小規模な噴火は水蒸気爆発です。水蒸気爆発は、山頂以外の噴気活動が活発な場所で発生することもあります。ここでは山頂から噴出した場合を示しています。



大規模噴火範囲

小規模噴火範囲

1997年の澄川温泉のように、小規模な噴火は山麓でも起こり得る。いずれにしても噴火が起きたときには火口に近づかないことじゃ。

鬼ヶ城で噴火したとき、噴石が到達する可能性のある範囲

数十年に一回
小規模

噴火の大きさ

大規模
数千年に一回

記号と色の意味

想定噴火範囲
このマップで想定した噴火の発生する範囲です。

噴火によって被害を受ける可能性のある範囲

降灰
山頂付近で噴火し、焼山付近で卓越する西南西の風の場合に降灰が予想される範囲です。
火山灰が堆積する厚さです。降灰は風向きによって変わるため、全ての方向を示しています。

火砕流/火砕サージ
赤いハッチの範囲：火砕流の土砂(本体)が直接到達する範囲です。
薄いピンクの範囲：熱風(火砕サージ)が到達する範囲です。
火砕流は噴火した際、全ての方向へ同時に流れるわけではありません。

噴石
噴石が到達する可能性のある範囲です。噴石は噴火した際、全ての方向に到達する可能性があります。

火山泥流
融雪型火山泥流が流れ、氾濫する可能性のある範囲です。火山泥流は、火砕流が流れた場所で発生します。

溶岩流/溶岩ドーム
溶岩流が流れる可能性のある範囲です。溶岩流は噴火した際、全ての方向へ同時に流れるわけではありません。

土石流
噴火後の降雨によって土石流が流れ、氾濫する可能性のある範囲です。

拡大図

裏面へ

焼山周辺拡大図

玉川温泉付近拡大図



銭川温泉付近拡大図



銭川温泉



後生掛温泉



後生掛温泉付近拡大図



想定噴火範囲 想定した火口域	火砕流/火砕サージ 火砕流到達範囲 火砕サージ到達範囲
降灰 西南西の風で予想される降灰の範囲 火山灰の堆積厚	火山泥流 火山泥流到達範囲
噴石 噴石到達範囲	溶岩流/溶岩ドーム 溶岩流到達範囲
土石流 土石流到達範囲	



降灰の方向は風向きによって変わります。



風向きによって降灰の方向は変わるので注意が必要じゃぞ!



至 田沢湖町市街地

至 鹿角市街地